



# 株式会社テクノスジャパン 第28期定時株主総会

2022年6月24日

LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる未来を切り拓く ～

## ◆本総会の議事運営について

---

- 本総会の議事の運営は議長の指示に従ってください
- 質問をはじめとする一切のご発言は、報告事項の報告および決議事項の上程の後にお受けいたします
- 新型コロナウイルス感染防止の観点から、円滑・効率的な議事の進行により、所要時間が長くならないように努めてまいります

# 報告事項

---

# 第28期(2022年3月期) 事業報告及び計算書類報告

# ◆第28期(2022年3月期) 連結貸借対照表

招集ご通知  
42頁

連結 (単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	4,171	63.7%	<b>4,807</b>	70.7%	+636	現金及び預金 + 461 売掛金 + 187 仕掛品 △14
固定資産	2,379	36.3%	<b>1,995</b>	29.3%	△383	無形固定資産 △182 投資有価証券 △230
資産合計	6,550	100.0%	<b>6,803</b>	100.0%	+252	
流動負債	1,224	18.7%	<b>1,230</b>	18.1%	+5	買掛金 +84 未払法人税等 △156 未払消費税等 +42
固定負債	351	5.4%	<b>264</b>	3.9%	△87	繰延税金負債 △80
負債合計	1,575	24.1%	<b>1,494</b>	22.0%	△81	
純資産合計	4,974	75.9%	<b>5,308</b>	78.0%	+333	利益剰余金 +413 為替換算調整勘定+61 その他有価証券評価差額金 △159
負債・純資産合計	6,550	100.0%	<b>6,803</b>	100.0%	+252	
自己資本比率	75.6%	—	<b>77.5%</b>	—		

# ◆第28期(2022年3月期) 連結損益計算書

招集ご通知  
43頁

連結(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	8,197	9,046	+ 849	+ 10.4%
売上総利益	2,433	2,841	+ 408	+ 16.8%
(売上総利益率)	29.7%	31.4%	-	-
営業利益	924	1,144	+ 220	+ 23.8%
(営業利益率)	11.3%	12.6%	-	-
経常利益	958	1,191	+ 233	+ 24.3%
(経常利益率)	11.7%	13.2%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	661	650	△ 11	△ 1.7%
1株当たり 当期純利益(円)	33.52	32.98	△ 0.54	△ 1.6%
自己資本利益率 ROE(%)	14.2	12.7	△ 1.5	△ 10.6%
配当額(円)	12	14	+ 2	-
EBITDA	1,043	1,201	+ 158	+ 15.1%

## ◆第28期(2022年3月期) 連結損益計算書／事業の経過及び成果

### 1. 売上高は前年度対比増収（**5期連続増収**）

- ERP・CRMへのシステム投資は堅調・好調

売上高	9,046百万（前年比 <b>10.4%</b> 増）
-----	-----------------------------

### 2. 営業利益・経常利益は前年度対比**大幅増益**

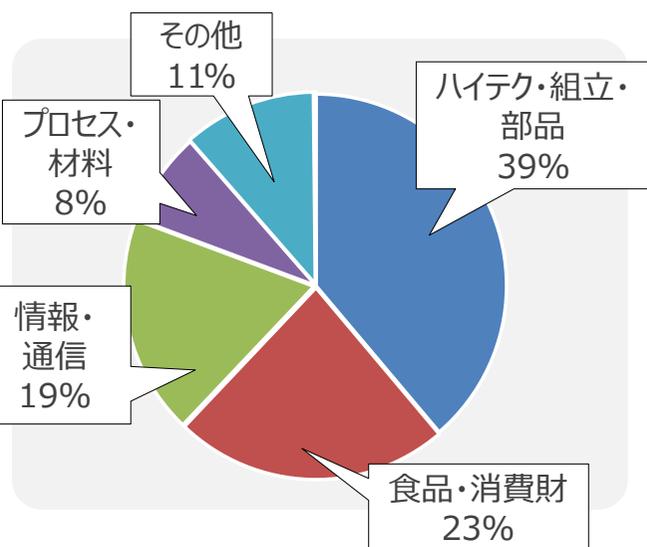
- 第3四半期で特別損失を計上したことが影響し、当期純利益は前年度対比で若干の減収、ROEについてもポイント減

営業利益	1,144百万円（前年比 <b>23.8%</b> 増）
経常利益	1,191百万円（前年比 <b>24.2%</b> 増）
親会社株主に帰属する当期純利益	650百万円（前年比 <b>1.6%</b> 減）
ROE	12.7%（前年比 <b>1.5ポイント</b> 減）

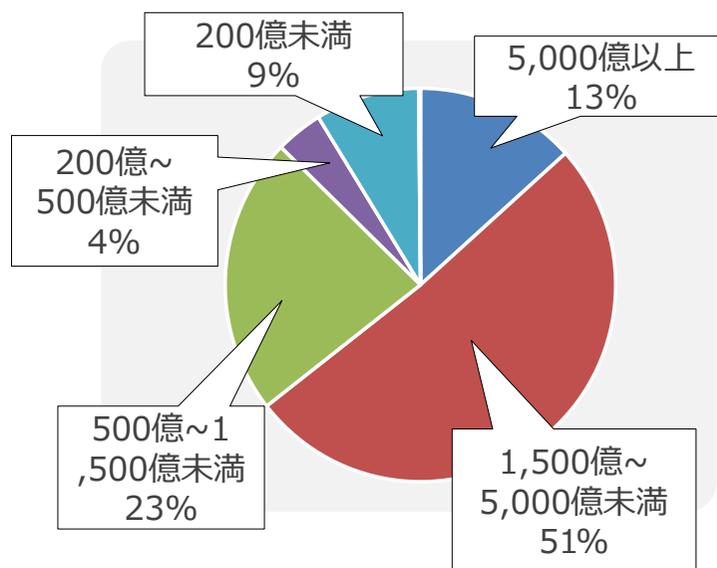
# ◆ 2022年3月期 売上高構成状況

大手製造業・情報通信業のお客さまを中心にビジネスを展開

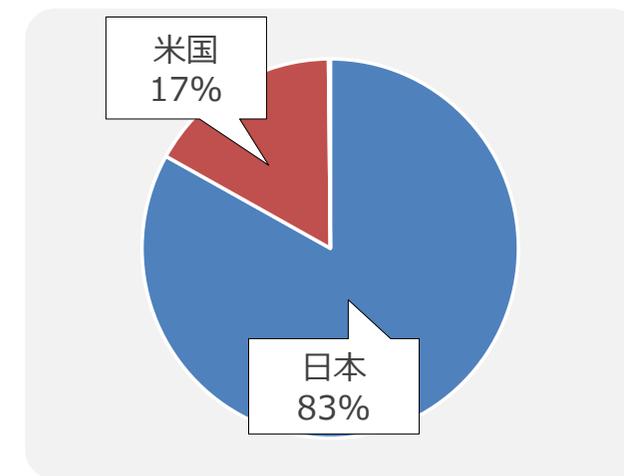
サービス先業種別  
売上高構成



サービス先規模別  
売上高構成



サービス先地域別  
売上高構成



# ◆ テクノスグループのデジタルソリューション (DX=ERP×CRM×CBP)

「企業リソース：人・モノ・カネ・情報」を  
計画・実行・管理するシステム

## ERP

(Enterprise Resource Planning)

企業の基幹業務システム

生産・購買・在庫・販売・会計

- SAP S/4HANA
- mcframe
- Oracle NetSuite

顧客満足度向上を通して、  
売上の拡大と収益性の向上を目指すシステム

## CRM

(Customer Relationship Management)

顧客管理システム

営業・アフターサービス

- Salesforce

# DX

## CBP

(Connected Business Platform)

企業間協調プラットフォーム

企業間の取引業務の高度化、  
サプライチェーン全体の効率化を  
推進するクラウドサービス

# ◆トピック：SAP AWARD OF EXCELLENCE 2022

## DXコンサルティングの外部評価

- SAPジャパン株式会社が主催する『SAP AWARD OF EXCELLENCE 2022』において、テクノスジャパンの「ヤマサ醤油株式会社SAP S/4HANA新規導入プロジェクト」が優秀賞プロジェクト・アワードを受賞
- テクノス独自の標準導入手法「TEIM」を活用することで品質・網羅性を高めながら、プロジェクト状況をお客様に分かる形で見える化し、常にご納得いただきながら導入を推進



『SAP AWARD OF EXCELLENCE 2022』  
「Project Award」入賞トロフィー

PRESS

### テクノスジャパンがSAP AWARD OF EXCELLENCE 2022「ヤマサ醤油株式会社SAP S/4HANA新規導入プロジェクト」優秀賞「プロジェクト・アワード」を受賞

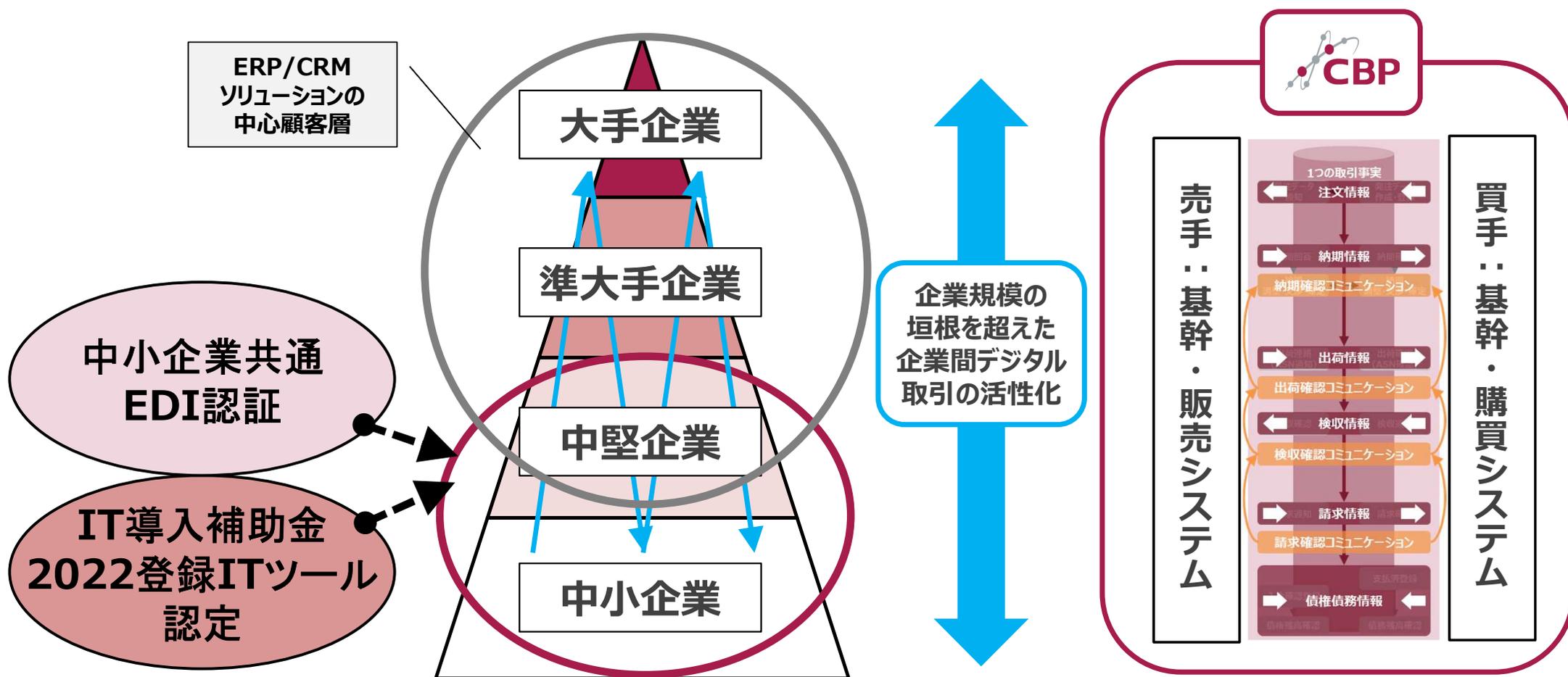
2022.03.23

DXでつながる社会の未来を切り拓く株式会社テクノスジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉岡 隆、以下「テクノスジャパン」、証券コード3666）は、SAPジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 洋史）が主催する『SAP AWARD OF EXCELLENCE 2022』において、「ヤマサ醤油株式会社SAP S/4HANA新規導入プロジェクト」が優秀賞プロジェクト・アワードを受賞したことをお知らせいたします。

■SAP AWARD OF EXCELLENCE 2022とは  
1998年に創設された『SAP AWARD OF EXCELLENCE』は、SAPビジネスへの貢献度、ならびに顧客満足度などにおいて、極めて高く評価されたパートナー企業に授与される賞で、今回で第25回目を迎えます。SAP S/4HANAやクラウドなどの主力SAPソリューション分野での取り組みや成果、ビジネスの実績、優れた導入プロジェクト、導入企業からの高い価値の提供、といった様々な観点から評価

# ◆トピック：中小企業共通EDIとIT導入補助金

大手企業から中堅・中小企業まで企業間のデジタル取引活性化



## ◆その他報告事項

招集ご通知  
26頁～41頁

### その他事業報告

- 企業集団の現況に関する事項
- 会社の株式に関する事項
- 会社役員に関する事項
- 会計監査人の状況
- 剰余金の配当等の決定に関する方針

招集ご通知  
42頁～45頁

### その他計算書類報告

- 貸借対照表
- 損益計算書
- 連結株主資本等変動計算書
- 連結注記表
- 株主資本等変動計算書
- 個別注記表

WEB開示  
6頁～29頁

招集ご通知  
46頁～50頁

### 会計監査人および監査等委員会の 監査結果

- 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本
- 会計監査人の監査報告書 謄本
- 監査等委員会の監査報告書 謄本

## ◆ 対処すべき課題

招集ご通知  
27頁~28頁

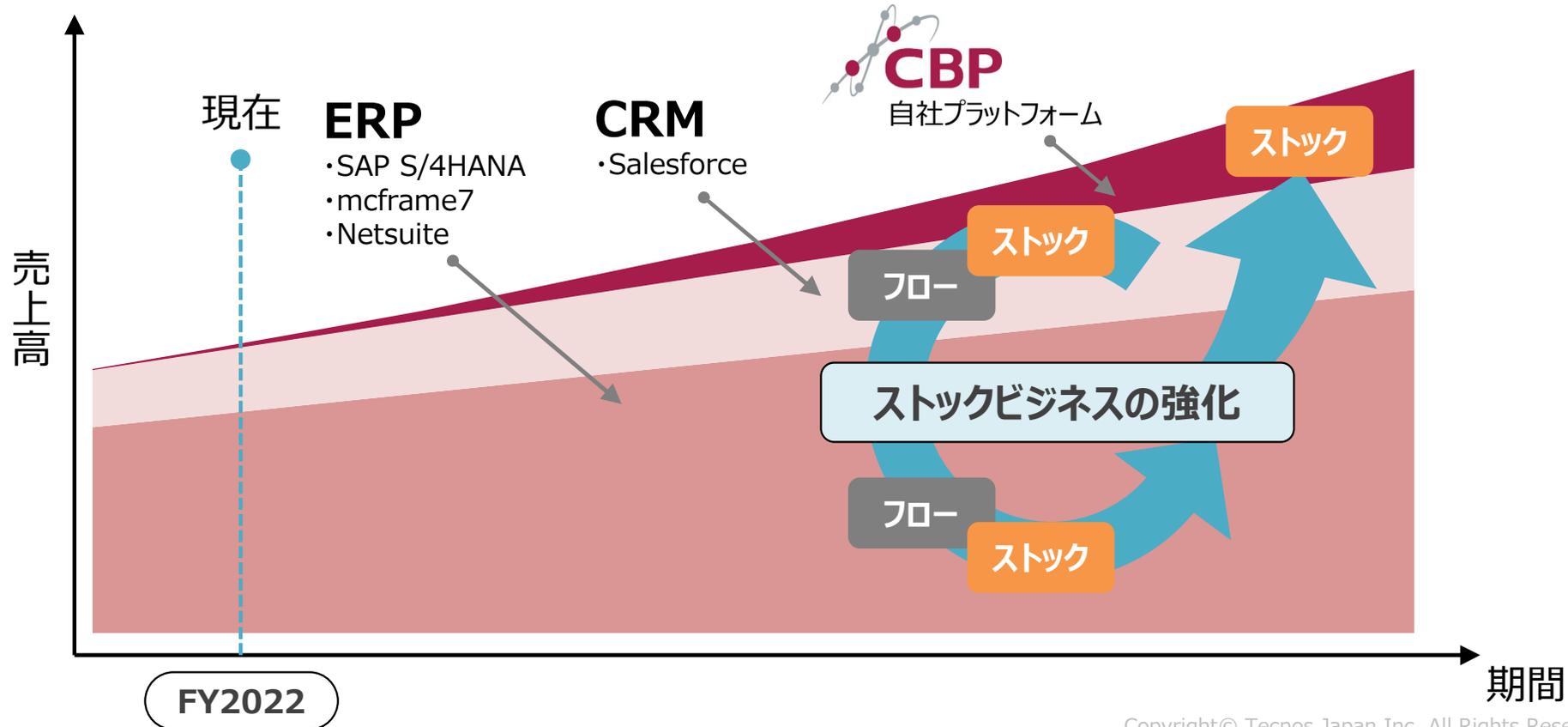
1. デジタルトランスフォーメーション(D X)推進ビジネスへの取り組み強化
2. 新型コロナウイルス感染拡大による世の中の変化への柔軟な対応
3. グローバルビジネスの拡大
4. 人材の確保と人材価値向上策の推進
5. 柔軟な組織運営

# 当社グループ 今後の事業展開

# ◆ 将来の事業展開

## 売上高構成の変化イメージ

- 高成長のERP・CRM市場における導入コンサルティングでフロー型収益を継続的に獲得する
- 並行してストック型のプラットフォームサービスを拡大することで安定的な収益基盤を構築する



# ◆ OKRによる組織運営への取り組みを開始

## 自律的なチャレンジを促すマネジメントの浸透

MISSION (ミッション)

企業・人・データをつなぎ社会の発展に貢献する

VISION (ビジョン)

LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE  
～つながる社会の未来を切り拓く～

VALUE (バリュー)

顧客志向・グローバル志向／個性融合のチームワーク／創造、変革、改善

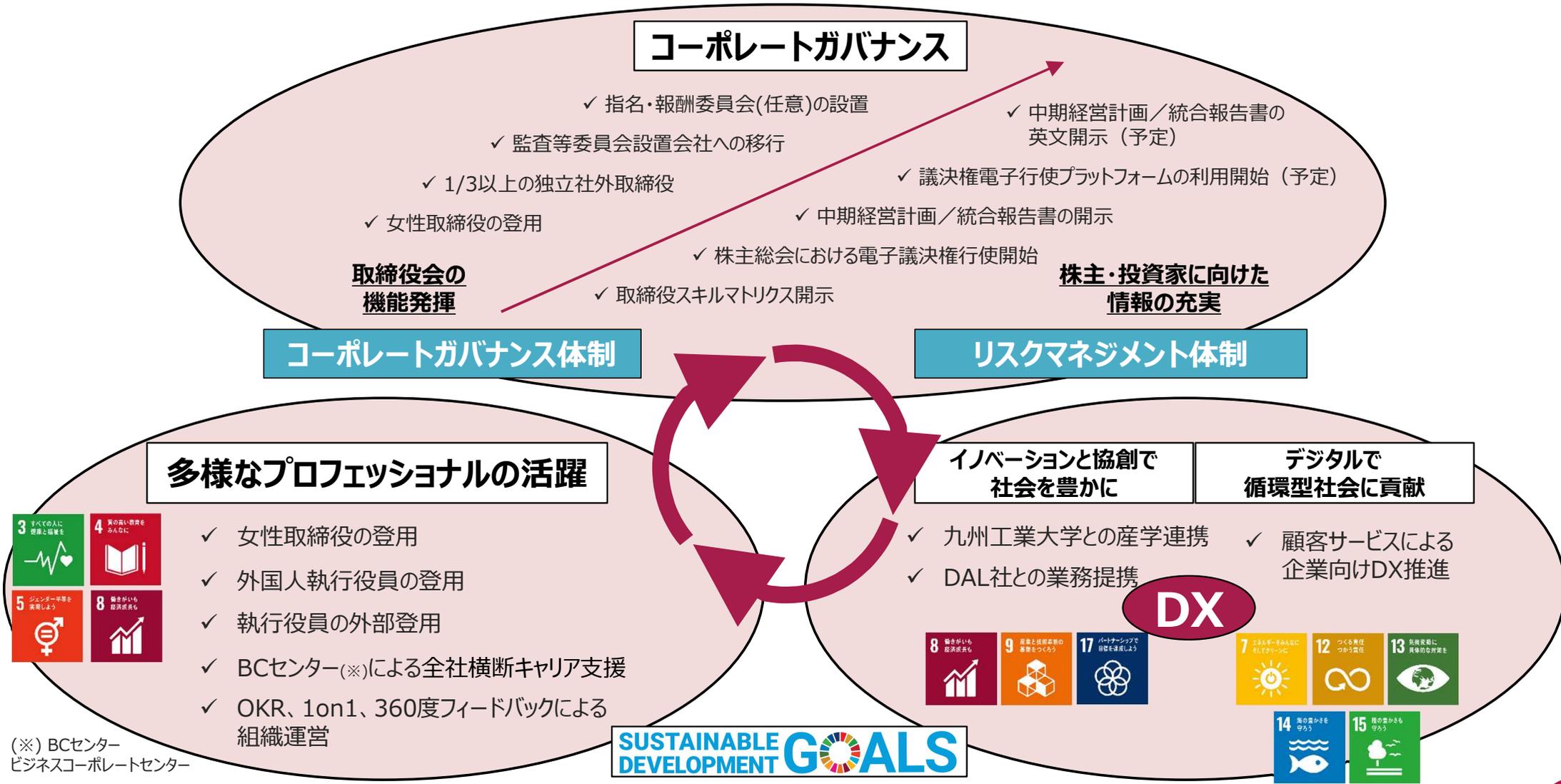
新中期経営計画  
(2023年3月期～2025年3月期)  
を策定  
「ERP×CRM×CBP」による  
DX推進事業を積極拡大

「顧客志向・グローバル志向」／「個性融合のチームワーク」／「創造、変革、改善」の体現  
➤ **自律的に挑戦するカルチャー醸成の加速**

ミッション・ビジョン・経営目標の達成に向けた一人ひとりの  
主体的な目標設定と行動を促す組織運営を実現  
➤ **「OKR」・「1on1」・「360度フィードバック」による組織運営と全社浸透**

※OKRとは Objectives and Key Resultsの略称。グローバルの先進的企業が採用する組織マネジメント手法

# ◆コーポレートガバナンス・持続可能な社会に向けた取り組み



# 第29期(2023年3月期) 業績見通

## ◆第29期(2023年3月期) 業績見通 (連結)

2023年3月期は引き続き成長を見込む (売上高は100億円台に)

連結 (単位: 百万円)

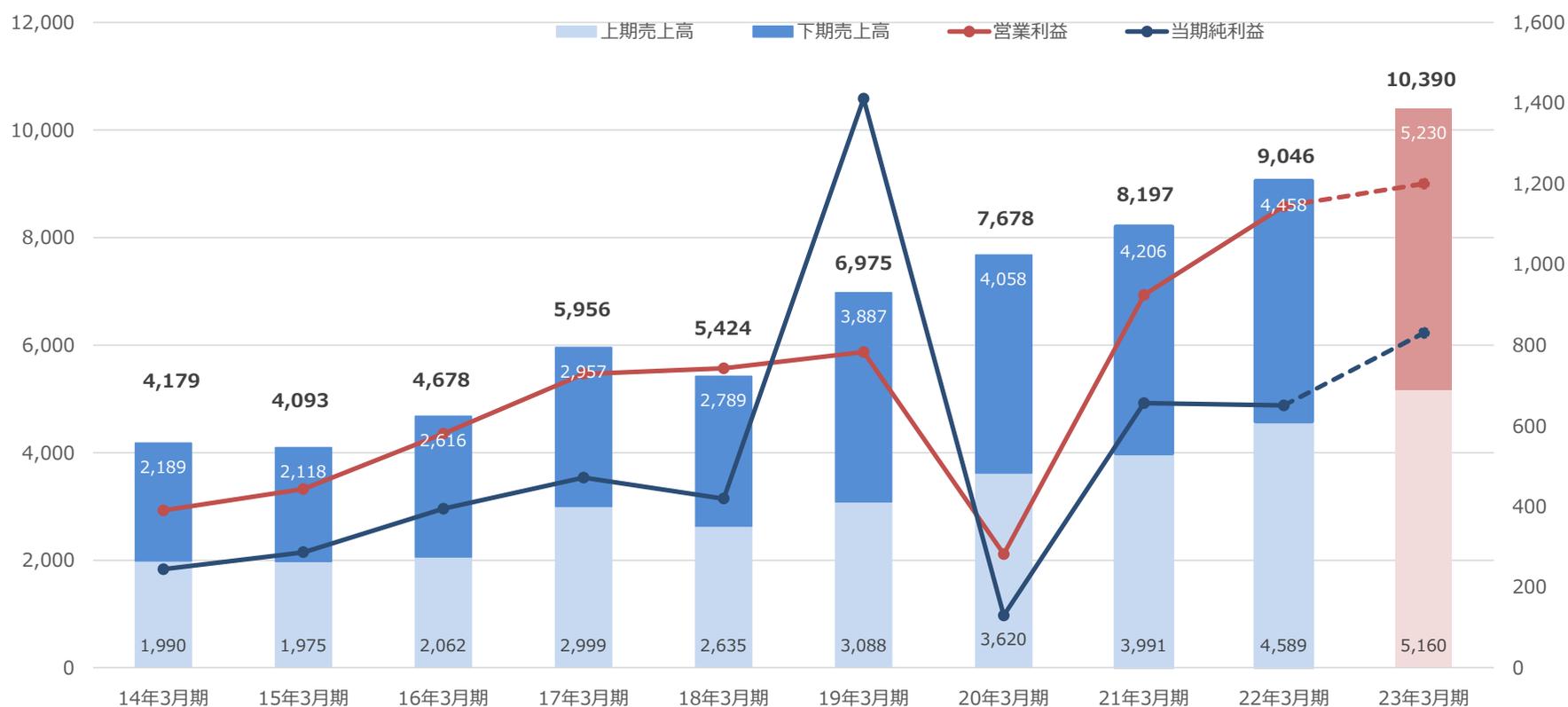
	2022年3月期	2023年3月期	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	9,046	<b>10,390</b>	+ 1,344	+ 14.8%
営業利益	1,144	<b>1,200</b>	+ 56	+ 4.8%
(営業利益率)	12.6%	11.5%	-	-
経常利益	1,191	<b>1,240</b>	+ 49	+ 4.1%
(経常利益率)	13.2%	11.9%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	650	<b>830</b>	+ 180	+ 27.7%
1株当たり 当期純利益 (円)	32.98	<b>42.06</b>	+ 9.08	+ 27.5%
自己資本利益率 ROE (%)	12.7	<b>15.0</b>	-	-
配当額 (円)	14	<b>14.1</b>	+0.1	-
EBITDA	1,201	<b>1,256</b>	+ 55	+ 4.6%

# ◆ 売上・営業利益・当期純利益の推移（連結）

売上、営業利益は持続的に成長

(単位：百万円)

(単位：百万円)



# ◆ 2022年3月期 中期経営計画目標に対する進捗 / 持続的成長

## 中期経営計画の目標に対して順調に進捗

中期経営計画：DX人材・CBP等へ積極投資しながら、ERP・CRM・CBPのトータルソリューションで、2025年3月期に売上113億円、営業利益13億円を目指す

	2021年3月期			→	2021年3月期～2023年3月期		→	中期経営計画	
	実績	実績	前年度対比 増減率		見通	CAGR (年平均成長率)		目標値	CAGR (年平均成長率)
売上高	81億9千万円	<b>90億4千万円</b>	<b>10.4%</b>	→	<b>103億9千万円</b>	<b>12.6%</b>	→	113億円	8.4%
営業利益	9億2千万円	<b>11億4千万円</b>	<b>23.8%</b>	→	<b>12億円</b>	<b>14.0%</b>	→	13億円	8.9%
営業利益率	11.2%	<b>12.6%</b>	<b>+1.4pt</b>	→	<b>11.5%</b>	<b>+0.3Pt</b>	→	11.5%	+0.3pt
ROE	14.2%	<b>12.7%</b>	<b>-1.5pt</b>	→	<b>15.0%</b>	<b>+0.8Pt</b>	→	14%以上	-

(単位：百万円)



(単位：百万円)

# ◆ 2023年3月期の株主還元

## 2023年3月期の配当は14.1円（0.1円増配）

### 三方バランスのとれた利益還元施策

#### 株主還元

- 長期的に安定した株主還元
- 適正な配当性向確立
- 自己株式取得

#### 成長投資

- CBPへの投資
- 成長を支える人財への投資

#### 財務基盤

- 健全な財務基盤を維持
- 適切な自己資本比率

#### ■ 配 当 金

連結株主資本配当率（DOE）を指標とした配当の実施

#### ■ 株 主 優 待

2023年3月期より導入予定

#### ■ 自己株式取得

内部留保、PER、キャッシュフローの状況等を鑑み機動的に実施

### 株主還元施策実績と予想



2023年3月期の配当額については、「株主資本」に対し、配当金・株主優待を合わせて5%～5.5%を目安に配当として還元していく方針としています。2023年3月期より導入予定の株主優待は、詳細決定後お知らせいたします。

【2023年3月期の配当予想】 14.1円

当社配当方針に従い、2023年3月期は、前期から0.1円増配し、14.1円といたします。

# 決議事項

---

【変更点】

- 変更案第16条第1項は、株主総会参考書類等の内容である情報について、電子提供措置をとる旨を定めるものであります。
- 変更案第16条第2項は、書面交付請求をした株主に交付する書面に記載する事項の範囲を限定するための規定を設けるものであります。
- 株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供の規定（現行定款第16条）は不要となるため、これを削除するものであります。
- 上記の新設、削除に伴い、効力発生日等に関する付則を設けるものであります。

◆ 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）7名選任の件

招集ご通知  
9頁~16頁

任期満了(7名)

- 吉岡隆
- 山下誠
- 小林希与志
- 石田実
- 千葉孝紀
- 堀部保弘（社外）
- 太田知子（社外）

取締役（監査等委員である者を除く）候補者7名

- 吉岡隆
- 山下誠
- 小林希与志
- 石田実
- 千葉孝紀
- 堀部保弘（社外）
- 太田知子（社外）

◆ 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

招集ご通知  
17頁~19頁

任期満了(3名)

監査等委員である取締役  
候補者3名

- 窪田茂
- 毛利正人 (社外)
- 大嶋義孝 (社外)

- 窪田茂
- 毛利正人 (社外)
- 大嶋義孝 (社外)

◆ 第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

招集ご通知  
21頁~22頁

補欠の監査等委員である  
取締役候補者1名

- 堀部保弘（社外）

## ◆ 第5号議案 取締役に対する業績連動型株式報酬の付与のための報酬決定の件

---

招集ご通知  
22頁~24頁

- 業績連動型株式報酬制度であるパフォーマンス・シェア・ユニットを用いた報酬制度の導入

◆ 第6号議案 会計監査人選任の件

招集ご通知  
25頁

任期満了

会計監査人候補者

有限責任監査法人  
トーマツ

太陽有限責任監査法人

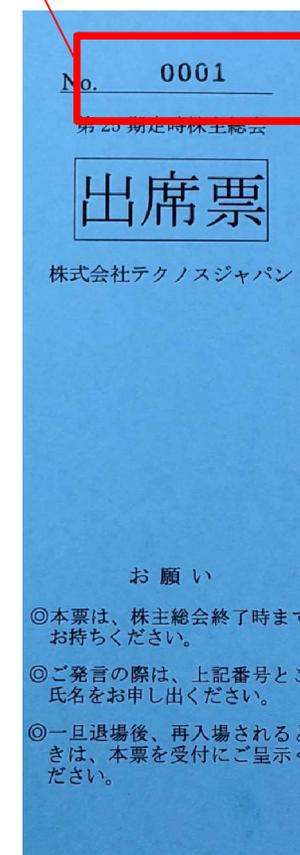
# 報告事項および決議事項に関するご質問

---

## ◆ 報告事項および決議事項に関するご質問について

- ご発言を希望される方は、挙手ください
- 議長の指名を受けられた後に、前の質問席までお進みください
- ご発言の際には、出席票の番号をお伝えください  
また、可能であればお名前をお伝えください
- 要点を簡潔にまとめてご質問ください

出席票の番号



# 議案の採決

---

### 第1号議案 定款一部変更の件

#### 【変更点】

- 変更案第16条第1項は、株主総会参考書類等の内容である情報について、電子提供措置をとる旨を定めるものであります。
- 変更案第16条第2項は、書面交付請求をした株主に交付する書面に記載する事項の範囲を限定するための規定を設けるものであります。
- 株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供の規定（現行定款第16条）は不要となるため、これを削除するものであります。
- 上記の新設、削除に伴い、効力発生日等に関する付則を設けるものであります。

### 第2号議案 取締役（監査等委員である 取締役を除く）7名選任の件

- 吉岡隆
- 山下誠
- 小林希与志
- 石田実
- 千葉孝紀
- 堀部保弘（社外）
- 太田知子（社外）

第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

- 窪田茂
- 毛利正人（社外）
- 大嶋義孝（社外）

**第4号議案 補欠の監査等委員である  
取締役1名選任の件**

- **堀部保弘（社外）**

**第5号議案 取締役に対する業績連動型株式報酬  
の付与のための報酬決定の件**

- 業績連動型株式報酬制度であるパフォーマンス・シェア・ユニットを用いた報酬制度の導入

**第6号議案 会計監査人選任の件**

**太陽有限責任監査法人**

# 取締役のご紹介

---

## ◆取締役のご紹介

招集ご通知  
20頁

### 取締役 (監査等委員である取締役を除く)

- 吉岡隆
- 山下誠
- 小林希与志
- 石田実
- 千葉孝紀
- 堀部保弘 (社外)
- 太田知子 (社外)

### 監査等委員である取締役

- 窪田茂
- 毛利正人 (社外)
- 大嶋義孝 (社外)

ご審議ありがとうございました。  
一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう  
よろしく申し上げます。



LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる未来を切り拓く ～